



みとよし  
三豊市

# 議会だより

<https://www.city.mitoyo.lg.jp/gikai/>

11 2020年  
月号  
No.39

📷 スポーツ少年団 詫間剣心会

9月定例会

- ②議会ホームページリニューアル ③議会事務事業評価 ④定例会の概要  
⑤審議結果 ⑥一般質問 ⑨委員会審査 ⑩学校紹介



決算特別委員会で審査した「議会事務事業評価の結果」を、議長から市長に手渡しました。  
この評価を令和3年度予算編成および今後の施策展開に活用していただくことを要望するとともに、評価内容の施策への反映状況についても、議会への報告をお願いします。

## 議会 事務事業評価

議会事務事業評価とは、市のさらなる発展を目指し、市が行っている政策や施策の8項目について、議会独自に評価を行ったものです。  
その8つの事業の評価結果とその理由をお知らせします。

事業名称	主な理由	評価結果
企業立地促進事業	人口減少対策や本市の活性化につながり、経済発展には重要。	拡充
先端技術導入推進事業	全国的にも注目されているAI人材の育成や今後のまちづくりにとって、先端技術の活用は必須。	拡充
空家等対策事業	空き家は増えており、近隣住民の安心、安全の確保と住環境の向上にはさらに強力に取り組まなければならない。	拡充
都市計画事業	まちづくりのために都市計画は重要であり、国や県とも協議をしながら進めてきており、計画的に進められている。	維持
放課後児童クラブ運営事業	コロナ禍の拡大で不安定な社会状況のもと、厳しい状況に置かれている保護者への支援のため、拡充が望まれる。	拡充
学習ICT整備事業	IT教育の基礎をなすもので、校務支援システムの完全稼働と併せて推進を図る必要がある。	拡充
学校給食センター等整備事業	北部学校給食センター設置にあたっては、児童生徒の数の推移を見ながら、適切な投資を行うべきである。	維持
永康病院運営事業	高齢化社会の進展、新型コロナウイルスの蔓延等、市民生活において医療はますます重要。	維持

特集

# 議会中継を見てみよう!!

10月1日、市議会ホームページをリニューアルしました

- ここが便利!
- 1 スマホレイアウト対応
  - 2 人気コンテンツは大きなボタンで
  - 3 分かりやすいメニュー表示

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、議会傍聴を控えていただいておりますが、ホームページからも、議会の様子をご覧いただけます。  
9月定例会から、議場に前方からのカメラを増設いたしましたので、質問者の表情もよく分かり、見やすくなりました。これからも市民のための議会として、取り組んでまいります。



前方カメラはじめました!



議員席がバッチリ!!



令和2年第3回(9月)定例会

■全会一致の議案

Table with 2 columns: 議案名等, 議決結果. Lists various budget and administrative items with their respective outcomes (e.g., 原案認定, 原案可決).

※人事案件(敬称略)

■賛否が分かれた議案

Table with 23 columns for council members and 1 column for 議決結果. Shows voting results for specific items like '令和元年度三豊市一般会計歳入歳出決算認定について'.

※○:賛成 ●:反対 欠:欠席 退:退席 除:除斥 ※議長は可否同数の場合のみ表決権があります。(議長 12番 為広 員史)

視察に来ていただきました 【地域商社について】 10月7日 愛知県春日井市議会 文教経済委員会

議会日誌: A calendar-style layout showing dates from 5/1 to 7/27 and listing various council activities and meetings.



今定例会では、主に次のことが決まりました

- 令和元年度決算認定 ..... 10件認定
● 令和2年度補正予算 ..... 10件可決
● 条例に関する議案 ..... 2件可決
● その他の市長提出議案 ..... 4件可決
● 人事案件 ..... 4件同意
● 議員提出議案等 ..... 3件可決

主な議案をご紹介します。

令和2年 第3回 定例会の概要
【会期 9月3日~10月1日(29日間)】

可決 令和2年度9月補正予算
○一般会計 1,476,446千円増 44,503,436千円
○国民健康保険事業特別会計 63,840千円増 8,523,640千円
○国民健康保険診療所事業特別会計 4,927千円増 160,927千円
○後期高齢者医療事業特別会計 7,081千円増 1,096,081千円
○介護保険事業特別会計 221,489千円増 8,268,489千円
○介護サービス事業特別会計 510千円増 100,510千円
○集落排水事業特別会計 650千円増 168,650千円
○港湾整備事業特別会計 2,546千円増 22,546千円
○病院事業会計 113,260千円増 3,502,285千円

補正 議案 Pick Up
議案第94号 財産の取得について
議案第95号 財産の取得について
(三豊市中学校ICT機器児童用タブレット)
(三豊市小学校ICT機器児童用タブレット)

人事案件(敬称略)
○三野町大見財産区管理委員の選任について
○人権擁護委員候補者の推薦について
意見書
新型「コロナウイルス」感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

議員提出議案
議会活性化特別委員会委員の定数の変更について
議会広報委員会委員の定数の変更について
「8人」に変更するもの。
「7人」から「8人」に変更するもの。

決算 令和元年度歳入歳出決算認定
■一般会計
■特別会計8事業
・国民健康保険事業
・国民健康保険診療所事業
・後期高齢者医療事業
・介護保険事業
・介護サービス事業
・集落排水事業
・浄化槽整備推進事業
・港湾整備事業
令和元年度決算認定
■病院事業会計
委員会委員の辞任・選任
石井 秀文(高瀬町比地中)
藤川 正文(山本町神田)
田淵 博章(仁尾町仁尾)



9月定例会では、9月8日～10日の3日間、15人の議員が一般質問を行いました。質問順に要旨を掲載します。原稿は質問者本人が書いています。

**新永康病院建設について**

横山 強 議員

**問** 隣接の土地の取得はあるのか。

**答** 新病院は完全予約制なので現時点では必要ないと考えている。

**問** ECI方式による問題点。

**答** この方式は適用事例が少なく、横山議員のご指摘される問題点があることも事実である。

**問** ECI方式で新設による、施工者・CM・設計業者に対し、建物保証は30年とする特約条項として。

**答** 新病院の建築工事請負契約について、横山議員から提案のあった保証期間の30年だが、特約条項の問題もあるが、市の不利にならないように対応していく。

**問** ECI方式と通常競争入札による事業費の比較とした問題点。

**答** 確かに横山議員のご指摘のように、病院建築の経験のある業者に見積りを依頼する必要がある。新設場所を地盤調査後の問題点。建築予定地は、一部の浸水部分。が初めて想定される。浸水防災対策とする。



▲総合防災マップによる最も危険な場所に選定した新永康病院建設場所

**問** 新病院を新たな場所を選定した市政が市民に対し、責任保証は誰か。

**答** 部長会が場所を選定し、私(市長)もこれを了承し、執行部として意思決定し、責任保証は、当然、私は市長および病院の開設者にあると思っている。市長は病院の開設者としての重責の下、責任を果たすべく市民のため全力で取り組んでいく。

**問** 新設場所が軟弱地・地震・津波等による危険度と患者・職員の生命を守る観点から、永康病院新設は現在の場所に建設するべきではないのか。

**答** 横山議員のご指摘のとおり、現永康病院の立地場所防災面についても十分考慮したが、総合的に判断した結果、建設予定地を決定したので、重ねてご理解をお願いしたい。

**コロナによる差別について**

近藤 武 議員

**問** 新型コロナウイルス感染者に対し偏見や差別が起った場合どういった対応をしていくのか。

**答** 市長としてのメッセージを市ホームページにおいて動画配信し、防災無線で市民の皆さまに対し正しい情報を基に冷静な行動を、誹謗中傷は許されない行為と呼びかけている。

**問** また、人権課による市ホームページにおいての啓発、7月からは新型コロナウイルスに関する人権相談窓口を設置して、人権侵害等の相談を受ける体制を取っている。

**答** 市民の不安を少しでも取り除くためにも、当たり前にPCR検査が受けられるような環境を構築することが、差別や偏見の抑制にもなる。三豊・観音寺圏域でのPCR検査センター設置の進捗状況はどうなっているのか。

**答** 三豊・観音寺圏域でのPCR検査センター設置については、三豊・観音寺市医師会、観音寺市、関係機関と協議を重ね、本年10月1日開設する。

**その他の質問**

○地域農産物付加価値づくり事業について

▲みとよのみ商品

○市役所の組織機構について



診し、医師が検査を必要とした場合、予約制で検体採取を行い、週2回、車に乗ったまま唾液検体採取するドライブスルー方式を採用し、軽症でも検査を可能にし、早期の診断と治療につなげることで、市民の方々の不安を少しでも払拭できるように進めていきたいと考えている。

**せとうちスマートアイランド構想とワーケーションについて**

浜口 恭行 議員

**問** 本年度、栗島をスマートアイランド化する構想が提案されているが、人口減少・特に高齢化や空き家増加などの課題が山積する栗島では、この構想からどのような地域の課題解決に繋げていく施策を考えているのか。

**答** スマートアイランド実証による島民の生活の確保と向上とともに、ワーケーションや瀬戸内国際芸術祭などのイベントによる振興策をもって、本市離島への関係人口、移住定住人口の増加を目指し、持続的に発展する離島施策を展開していきたい。

### 鳥獣被害対策について

**問** 7月末に詫間町で農作業をしていた女性がイノシシに襲われるという痛ましい事故があった。人が襲われたという点で対策の強化が急務であると考えますが、市民の安心安全を高めるため本市の有害鳥獣対策を聞く。

**答** 地元猟友会員で構成する「三豊市鳥獣被害対策実施隊」による



▲北部地域で増加しているイノシシ

また通報があった場合には警察によるパトロールなども行っているが、今後も市民の安心安全を守るため、イノシシやサルに遭遇した際の対処方法について、広報やホームページなどで再度周知をしていく。

**問** 令和元年度、本市で捕獲されたイノシシは過去最高の2,176頭であり、町別ではトップが詫間町の715頭であった。詫間地区や荘内半島で多くなっている検証や対策はしているのか。

**答** 詫間町内での捕獲715頭のスポット的な検証として1キロメートルの図面を作成し、捕獲場所の検証を行っている。詫間町における実施隊員は、令和元年度7人増加し、現在は24人体制で捕獲活動をお願いしている。

**市長の施政の在り方について**

西山 彰人 議員

**問** 次の選挙は山下乡長の政策、考え方や行政の進め方が問題になると思う。山下イズムを早急に市民の皆さんに示していただきたい。

**答** 私としては、新しいことにどんなチャレンジし、市民一人一人の豊かさを追求し、実感できる町を目指したい。AIやICTといった先端技術を導入したまちづくりを進める。また、3年前、わずか年間5千人だった父母ヶ浜の観光客数は昨年46万人にまで急増した。宿泊施設の立地も進んでおり、このような民間による自主的な事業展開がさらに広がるよう、バックアップ体制を整え、本市における観光の産業化を推進していく。部長会を通じて全庁的に連携した取り組みを行い、市民の皆さまに伝えていきたい。

### 法令順守(コンプライアンス)について

**問** 法令違反は地方公共団体には決してあってはならないことであり、疑われること自体が異常なこととの理解の上で対処すべきと思っている。三豊市の対応を伺う。

**答** 現在、法令順守の考え方や行動指針を策定中であり、策定後は全職員に対する研修会を通じて周知徹底を進めたい。

**問** 三豊市では課長は女性2.52%、男性11.03%、男性が約5倍。また、圧倒的に女性が多い給食調理員は退職者が出て新たに採用しない。これらを見ると三豊市では、女性は差別されていると思いませんか。

**答** 男女間の実質的な機会の平等を担保する観点から極めて重要なことと捉えており、女性職員の管理職への登用に取り組んでまいりたい。



※スマートアイランド…離島地域の課題を民間企業等有する新技術の実装により、解決する取り組み  
※ワーケーション…ワーク(仕事)とバケーション(休暇)を組み合わせた造語で、観光地やリゾート地でテレワークを活用し、働きながら休暇をとる過ごし方



金子辰男 議員



マイナンバーカードの活用および普及について

マイナンバーカード利用の促進として印鑑証明発行、図書カード、災害時の罹災証明等に活用できないのか。普及率はどうか。

コンビニ交付サービスは導入済み。図書カードとしての利用や、災害時に罹災証明を発行する利用はできていない。今後利便性の検証、利用検討を行う。マイナンバーカードの交付率は、昨年は14.61%だったが、今年は17.7%と増加している。広く周知したい。



▲2021年3月(予定)から健康保険証として利用できます!

市民にアピールする施策は。

マイナンバーカード持参により、印鑑証明が、朝6時30分から午後11時までの時間帯でコンビニで取

得可能。図書カードは、今後十分調査する。  
老朽化した農業施設の市独自の取り組みについて

農業用ため池等農業用施設の保全維持管理について、県の事業はハードルが高く、市の事業費だけでは進まない。補助率の見直しではなく、支給案件の見直しをできないのか。

昨年10月に補助率、限度額の見直しをしたばかりで難しい。現在の制度をフル活用して維持管理する。

負担軽減と地域農業衰退を防止することについて。

多面的機能支払交付金の活用の中に資源向上支払交付金がある。市と相談してほしい。

韓国ハプチョン郡との友好都市縁組をどのように考えているのか

友好都市縁組の今後の交流について、どう考え取り組むのか。

市民の国際感覚の向上と、世界に開かれた地域づくりのため、交流を継続していく。市民や事業者の自由な交流を目指す。

友好都市を見直さないのか。

国と国の困難な関係はあっても、未来を見据えた発展的な交流として継続していく。



田中達也 議員



新型コロナウイルス感染症対策としての「接触確認アプリCOCOA」と「かがわコロナお知らせシステム」の普及促進について

厚労省が提供する接触確認アプリ(通称COCOA)は、匿名で感染者と接触があったことが確認できる仕様であり、同省から「アプリにより接触が確認された場合、公費でPCR検査が受けられる」よう各自治体に通知されていることから、感染防止・コロナハラスメント防止の両面で、極めて有効な手段といえる。

また、LINEアプリを活用し、感染者が訪問した店舗・イベント等に訪問した人に対し、感染者との接触の可能性をお知らせする「かがわコロナお知らせシステム」を香川県が提供している。

これらを早期に普及させることは、二豊市民の安全・安心にとって必須であるため、期限付きの目標を定め、あらゆる手段を講じて取り組むべきと考える。  
これらの仕組みに対する三豊市の評価、普及促進に



接触確認アプリ(COCA)の画面

対する考えとその手段について質す。  
導入率が市内でも上がることで、市民の安心感も増し、効果があると理解している。

市広報紙やホームページの掲載以外にも健康教室や各種検診、相談時などのさまざまな機会を活用してアプリ導入の安全性、導入後メリット等について説明し、継続的な普及啓発に努める。

導入者へのインセンティブは検討していないのか。

アプリから通知を受けた方に対し、迅速に永康病院などで抗原検査を実施することがインセンティブになると考え、早急に検討し周知を図っていききたい。



高木修 議員



全員参加の提案活動の推進について

全員参加の職員提案活動についての考えを伺う。他の自治体で、提案活動を積極的に展開し、成果を挙げているケースがある。三豊市でも実施されたいかがかと、提案する。

三豊市では、すでにさまざまな形で提案活動を行っており、実績も挙げてきた。職員の知識と経験を総動員する体制ができています。



在留外国人の子どもの教育について

令和元年6月末で在留外国人は過去最大を数え、282万人に達している。三豊市でも今年の5月1日現在1,048人の方がおり、15歳以下の子どもが27人含まれている。それらの子どもの国別内訳と、就学状況等について教えてほしい。

15歳以下の27人のうち学齢期の子どもは18人。国籍は5カ国



丸戸研二 議員



魅力ある農産物の生産・流通・販売について

薬草栽培について、どのように農家二戸当たりの栽培面積を拡大し、安定した販路を確保するのか。

まだまだ手探り状態の部分も多く、試行錯誤を重ねているが、国内での薬用作物の需要は高まっている。品質や数量など、販売先の要求に応えられるよう、生産振興に取り組みたい。

薬草栽培を、どう農家所得の拡大につなげるのか。

農家所得の柱になるという位置付けはしていない。農家所得のプラスになるといえる。



▲薬草栽培へのチャレンジ

に及び。これらの子どもについては、日本語指導の講師等を派遣し、週2〜3時間個別指導を行っている。



公民館における禁酒ルールを貫くことは是非について

本年の初め、全ての公民館分館での飲食・飲酒喫煙が禁止された。この決定に疑問を抱く市民は多い。禁煙は時代の流れと理解できるが、飲食、飲酒全面禁止では、懇親会もできない。見直しできないか。

料理教室や昼食を挟んでの会合などは、事前通告により、禁止しない。今後、利用者の声を広く聞きながら、よりよい地域の活動拠点となるよう取り組みたい。



▲高瀬町公民館二ノ宮分館

公共施設の再配置について

現在、行政財産としての役目を終えた遊休施設はどの程度あるのか。また、それらの施設の年間維持費はどの程度かかっているのか。

三豊クリアプラザ、詫間庁舎、大浜小学校など19施設となっている。これらの施設の年間維持費は約744万円となっている。

今後どのように対応するのか。

合併特例債の期限である令和7年度までに19施設の処分を予定しており、市民への影響を極力少なくするという方針の下、公共施設全体の再配置に取り組む。

有害鳥獣対策について

鳥獣被害が拡大している。三豊市がリーダーシップをとって捕獲奨励金の大幅改定を行い、実態に即した有害鳥獣対策を実施すべきではないか。

捕獲奨励金については、合併以来改定をしていない。現実に合わせて令和3年度から改定する。

三豊市鳥獣被害対策実施隊の報酬は年額2千円である。実態に即するよう改定すべきではないか。隊員の捕獲活動等への負担軽減を図り、活動実態に合うよう、令和3年度から改定する。

※インセンティブ…意欲を引き出すための外的刺激



瀧本文子 議員



少子化と子どもの貧困

香川県の子どもの貧困率は11.6%、三豊市は8.5%とみられるが、貧困状況にある子ども数はどれくらいなのか。

貧困状況にある子ども数については、生活保護世帯は、235世帯のうち17歳以下は13世帯19人であり、ひとり親家庭の児童扶養手当受給者は45人で、児童数は693人。就学援助費受給者数は小学校367人、中学校190人となっている。

原因として、ひとり親家庭の不安定な非正規就労が挙げられ、貧困状況の見える化を図る必要があるのではないか。

真の貧困状況の把握は難しく、非常に見えにくいのが、子育て包括支援センターでアンケート調査を行い、相談即対応に結び付けるなど、今後も貧困の見える化に繋げていきたい。

将来の自立に向けて、高校受験の中学3年生の学習支援を行っているが、不参加者が4分の3(約60人)あることから、もっと踏み込んだ支援が必要ではないか。また活発化している「こども食堂」への支援強化についても伺う。

化についても伺う。

学習支援については、生活保護世帯、児童扶養手当受給世帯、就学援助費受給世帯の中学3年生を対象に、NPO団体に委託して無料の学習支援教室を開催している。教員OB、学生スタッフの個別指導で毎週土曜日、豊中町農村環境改善センターで行い、ほとんどの生徒が希望高校に進学できている。対象で参加していない生徒はアンケートで調査分析し、次年度以降の実施方法など検討したい。

また、中学対象学年の引き下げや小学校高学年への引き下げ、学習支援とこども食堂の連携等も検討していきたい。

子どもの居場所づくりについては、こども食堂や多世代交流の活動支援に向けて、運営助成金制度(月額1万円)を創設し、ネットワーク構築など支援を強めていきたい。



少子化が加速中での三豊市の教育方針について

学力、体力向上策を問う。目標と計画はどうか。三豊市の小・中学の体力学力は全国・県での位置は。

体力・学力は、小・中男女とも県平均、全国平均を上回っている。中学の英語は全国平均より少し下回っているが、おおむね満足できる結果を残している。

教育施設の統廃合計画の変更と理由は何か。教育施設は教育第一で地域第一ではないと思うが。計画の遅れがマイナスにならないように地域、保護者の理解を得るように、取り組んでいく。



今後の教育方針を示せ。

情報技術が飛躍的に進化して、グローバル化が進展し、将来の予想困難な時代に対し、思考力や判断力、表現力が重要である。そのためにも、小・中学校も未来の子どもたちが備えるべき、資質、能力をより充実するよう取り組んでいく。



水本真奈美 議員



障害者手帳等の再認定・更新申請の負担軽減を

本市の障害者手帳等の更新・再認定を行った人数と申請時に必要な診断書等の取得費用はいくらか。障がい者の生活支援のため診断書費用助成の考えを伺う。

身体障害者手帳は、障がいの状態の変化が起きた場合に再認定を申請する。精神障害者保健福祉手帳は、2年に1回更新があり、医師の診断書が必要となる。

この他に、精神疾患による自立支援医療費の制度があり、受給者証を更新する場合、2年に1回、診断書が必要である。元年度は、障害者手帳191人、精神障害者保健福祉手帳165人、自立支援医療費で363人が更新・再認定を申請。各診断書の取得には3千円〜5千円の費用が必要となる。障がい者の経済的負担軽減・生活支援の充実施策として次年度に向け前向きに検討する。

学校教育のICT化について

ICT整備計画の現状と学習がどう変わるのか。



込山文吉 議員



SDGs未来都市について

スマートアイランド構想の取り組みで、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金と光ファイバー整備補助金を活用して栗島、志々島に光ファイバーを整備すべきと思う。推進についての考えを聞く。

多極分散型ネットワークのまちづくり構築に必要な生活インフラの検証、光ファイバーの整備について検討していくことも、大変重要だと認識している。既存ツールの技術的な問題点の検証に加え、民間事業者の各種サービスの情報などを注視し、多方面から研究してまいりたい。



タブレットについては、分割納入で来年1月の納期より早期調達を目指し、小学6年生と中学3年生を最優先に整備する。1人に1台のタブレットが整備されることで、教師は子どもたち一人一人の反応を把握でき、きめ細かな指導など、双方向型の授業展開が可能になる。また情報や動画を編集し、全員が多様な意見に同時に触れることも可能になり、多様な子どもたちに個別最適化された学習が可能となる。



教員の働き方改革について

統合型校務支援システムは本格的に稼働しているのか。

元年度より試行実施、2年度から本格運用を開始している。教職員の共通理解を図り、システムや操作に慣れ、効率的なシステム運用のためのサポートが重要である。

給食費の公会計化について伺う。

平成28年度から公会計化導入しているが、徴収管理システムと未納事務管理の人的体制が課題でスケジュール感を持って、早急に取り組む。

バリアフリー化計画について

バリアフリー推進法が施行されても、本場に必要な方の声が届いていないのではないかと。

安全な歩行を阻害する障害物の除去、撤去指導も必要と考えている。関係部署間で協議を行う障がい者の情報を保有している福祉課が計画段階から参加し、意見を反映させる。

スポーツ施設整備計画について

社会体育施設で21施設ある。老朽化が進んだ施設もあるが全ての施設を整備できるとは思えない。統廃合なども視野に入れた整備計画の策定が必要ではないか。

維持管理費用が肥大化することや予想されている。施設の用途や利用状況を踏まえ機能の集約化など、今後の在り方を見極めてまいりたい。

中学校統合について

児童生徒数の激変や特別な事情が起きた。見直しを図るべきでは。

現在や今後の児童生徒数の減少も踏まえ教育委員会だけではなく、再度新たに再編整備検討委員会等を設け、十分に検討する必要がある、今後進めていく。



企業誘致の作戦について。立地用地の確保、企業訪問、連携、情報交換の加速を図る。

農地利用最適化活動が重要な役割を果たしている。農地転用は、国、県に対し規制緩和を要望する。

農地有効活用と規制緩和の考え方や解決策は。

基本方針は担い手育成確保、環境整備、農産物マーケティング戦略の確立としている。

農林振興の計画の方向は。

職員の意識改革の対策は市民に対し、職員ならびに組織の対応はできているか。

組織改革の考え方を問う



坂口晃一 議員





岩田秀樹 議員

医療・介護・福祉施設、保育所、幼稚園、学校などの関係者全員にPCR検査を

問 ワクチンのない現在、感染拡大を抑止するにはPCR検査を大規模に実施し、陽性者を隔離・保護する取り組み以外にない。

検査の絞り込みで、誰が感染者か分からない状態が続く、各地で市中感染が発生した。

国も、当初は強い症状の患者に限っていた検査対象を「医師が検査の必要性を認めた患者」や「無症状の濃厚接触者」に拡大した。

「濃厚接触者」に当てはまらなくても、感染が疑われる無症状者に自治体の判断で行政検査を行える。

広域的・多人数のPCR検査推進するためどう取り組むのか。

答 PCR検査の目的は、特効薬がない中、いかに迅速に命を守る治療につなげるかということ。PCR検査体制の拡充は重要となっている。しかし、

- ① 地域住民や事業所全体に対しての大規模なPCR検査の実施
② 医療・介護施設勤務者への定期的なPCR検査の実施

①②については検査に係る資源に限りがあるので、大規模な定期的な検査は難しい。

三豊・観音寺圏内での「検査センター」の10月1日設置。永康病院の「発熱外来」などの医療機関での抗原検査の実施に取り組んでいる。

③ 地域ごとの感染状況を住民に開示することについては、感染者が確認された場合、県の公表内容をもとに市でも情報収集し市のHPに掲載する。個人情報保護に留意した対応となる。

④ 陽性者の保護、治療する体制を緊急につくることについては、新型コロナウイルス患者を集中的に受け入れる「重点医療機関」として、感染症指定医療機関6、基幹病院4、確保病床数185床、軽症者・無症状者の宿泊施設101室が確保されている。



▲ 永康病院特設発熱外来



湯口新 議員

コロナで直接影響を受けた事業者への対応について

問 市内で新型コロナウイルスへの感染が確認された方が増えるにつれ、臨時休業など直接影響を受ける事業者も増えている。それらの事業者の営業継続支援のための施策が必要だと考えるがどうか。

答 県下一円で取り組んでいる「うつらない、うつさない運動」を積極的に進めている。新型コロナウイルスに感染された方やその関係先などの感染者情報については、国が定める情報公表にかかる基本方針に沿った対応となるため、市から直接的なアプローチはできないという実情もあるが、新しい生活様式を実践しつつ、前向きに事業継続に取り組み皆さまに対する支援については今後も検討していく。

市内スポーツ施設の利便性の向上と利用促進について

問 緑ヶ丘サッカー場の芝生張り替えが終了し、非常にきれいで使いやすいサッカー場になったが、同じ時間帯の利用は1団体のみとなっており、利用者によってはほとんどの

グラウンドが使われていないもったいない状態である。小学生のチームであれば2団体でも使えるようにするなど、今後運用ルールを現状に合った状態で考え、より多くの市民に利用してもらえようように変更すべきではないか。

答 確かに2団体が利用できる場合もあると考える。指定管理者と協議し、今後の運用ルールを考える。

問 現在の運動施設の利用予約は、電話確認や利用申請書の提出など昔ながらのシステムである。運動施設利用の申し込みについては市民の利便性向上のため、さまざまなアプリやシステムも開発されている。こういったシステムを導入することで空き施設の稼働状況を改善させては、利用予定者のキャンセル時などでは電話確認が必要になるなど他の利用希望者にとっては不便な状況。

答 市民にとって有効な手段を検討する。



▲きれいになった緑ヶ丘サッカー場。多くの市民が利用できるよう改善を!

その他の質問
○ 外部人材登用の考え方と雇用について

総務常任委員会

9月14日開催の総務常任委員会には、4議案が付託され審査した。

主な質疑と答弁

令和2年度一般会計補正予算(第6号)中の関係部分

問 未知のウイルス検知のためのシステム構築業務等の経費の減額について、来年度に先送りするということが、問題はないのか。

答 今現在、具体的な影響が出ておらず、次年度に先送りしても影響がないと判断した。

問 事業者等応援給付金事業について、対象期間が延長になったという周知はどのように行うのか。

答 議決後、防災行政無線・広報みとよを活用し、商工会・農協等と連携して、周知を図りたい。

問 出産育児応援給付金事業について、他の自治体と二重給付となることはないのか。

答 他の自治体の事業と重複給付となることはあり得るが、本市で出生登録をした乳児は全て対象とさせていたきたい。

問 たからだの里物産館の改修工事の増額による予算の組み替えについて、基本設計による当初予算に対して、実施設計後に追加工費が必要となったことであるが、設計の精度が落ちているのではないか。



▲ 10月から改修工事をしているたからだの里物産館

答 設計から施工まで、第三者に専門的な見地からサポートしていたなど、設計精度が上がるような方策を検討したい。

財産の取得について(消防ポンプ自動車)

問 特殊車両の購入はいつも高くなっているが、今回、入札参加者と落札率はいくらか。

答 5者を指名し、応札があったのは3者、落札率は91.82%であった。

以上、各議案とも慎重な審査により原案どおり、可決した。



三木秀樹 議員

市の将来のために、市独自の「給付型奨学金制度」を、今こそ実施しないのか

問 国が2年前に始めた給付型奨学金制度は、全学生294万人のうち、支給資格者は全体の0.6%の1万8,500人だ。今年から政府は学生生活支援として奨学金を少し増額したが、勉学に専念できるものではなく、バイトを授業期間中も常時しなければ生活できないものだ。その上、国の制度には一定の条件があり、悪ければ奨学金の支給停止、より悪ければ返金しなければならない。コロナ禍で学生は、バイトもできない現状だと聞くと、市内企業の従業員不足等は深刻だ。卒業後は市内で働く若者をつくる。市独自の給付型奨学金を、財源は「ふるさと納税」を活用。「市の将来を担う人材への投資」は、昨年、総額4億2,500万円を納めていただいた全国2万1,300件を超える人々の期待に応えるものと確信するが、どうか。

答 経済的に追い詰められ、未来をあきらめないよう、できるだけ限りの支援はする。コロナ禍での市内出身の県外学生調査を行った。精神



その他の質問

○ 我が党が6月に要望しに「コロナ対策の進捗状況」について

○ 市民からの市政改善要望

委員会審査

9月定例会では、各委員会に議案が付託され、その審査の経過や結果が、本会議で報告されました。委員会での審査内容を掲載します。

市民建設常任委員会

9月16日開催の市民建設常任委員会には、3議案が付託され審査した。

主な質疑と答弁

令和2年度一般会計補正予算(第6号)中の関係部分

問 今回の土地改良課および建設港湾課における原材料支給事業の増

額補正は、消費税増税によって事業効果が低くなっていることに対応するためものか。

答 消費税増税などによって事業効果が減少していることに対しては、昨年、補助率と限度額の変更を行い対応した。今回の補正は、現時点までの申請状況を受けて、緊急対応が必要と見込まれる不足分の増額補正をお願いするものである。



▲市単独補助土地改良事業



▲市道維持管理事業(黒谷入樋線)



▲塩生地区急傾斜地崩壊防止対策事業

以上、各議案とも慎重な審査により、原案どおり可決した。

教育民生常任委員会

9月3日および15日開催の教育民生常任委員会には12議案が付託され審査した。

主な質疑と答弁

令和2年度一般会計補正予算(第6号)中の関係部分

問 母子福祉扶助費の高等職業訓練促進給付金の申請状況は。

答 例年5件前後で今年の申請は7件。

問 子ども家庭総合支援拠点整備は。

答 国の新プランに基づき全国各自治体に設置。国のアドバイザー派遣事業から有識者にアドバイスをもらう。

問 修学旅行は本年度はどういう状況。

答 小学校5校については日帰り、14校については宿泊なしの2日間である。

令和2年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)

問 医療対象者は何人で今後の傾向は。

答 後期高齢者の被保険者は12,385人。今後の推移は減少していく。

工事請負契約の締結について

問 小学・中学校のLAN整備の順番は。

答 可能な限り早く進め、2・3班集体で実施したい。

財産の取得について(三豊市小学校ICT機器児童用タブレット)

問 i-padの1台当たりの単価は。

答 40,828円である。

財産の取得について(三豊市中学校ICT機器生徒用タブレット)

問 小中学校の機種が違うのはなぜか。

答 小学校は使いやすいi-padにした。

令和2年度一般会計補正予算(第7号)中の関係部分

問 高齢者のインフルエンザ予防接種率70%と見込む根拠は。コロナの影響で上がると思うが。

答 香川県の接種目標が70%である。

以上、各議案とも慎重な審査により、原案どおり可決した。



▲65歳以上のインフルエンザ予防接種予診票

決算特別委員会

9月3・11・17・18・23・25日開催の決算特別委員会には10議案が付託され審査した。

主な質疑と答弁

◆一般会計予算

総務費

問 東京U-Jターンの移住支援金と空き家バンクの家賃補助、新婚世帯家賃補助共に予算件数より少ない。条件緩和等の検証が必要ではないか。

答 移住支援事業は国・県市が一緒に取り組んでいる事業で、条件も厳しいが周知に努めていく。新婚家賃補助は、みとよ暮らしへのきっかけとなる事業として取り組んでいる。

問 詫間港周辺地区にぎわい創造事業用地整備方針概略検討委託料として330万円執行している。事業成果を伺う。

答 造船所跡地の活用のため、ドックを含めた設備、施設について撤去するかしないのか、判断の整理のため業務委託した。報告では、現状を生かした場合、撤去の必要はないが、新たな開発をし、上に構造物を建てる計画をする場合は、既存構造物を撤去しなければならない結果となった。

問 瀬戸内国際芸術祭での三豊市の経済効果を聞く。

答 3万人弱の来場者があった。栗島会場における経済効果は、約4億8千万円程度あったと考えている。

問 コミュニティバス運行事業で利用率が上がった路線もある。理由と分析、今後の展開を聞く。

民生費

問 女性相談事業で虐待相談対応件数が増加している原因と内容を聞く。

答 警察から児童相談所に連絡があった場合は、子育て支援課に連絡が来る。内容は身体的虐待、心理的虐待、育児放棄等で昨年度より25件増である。

問 発達障害相談事業の巡回相談が6クラブとなっている。なぜ6クラブなのか理由を聞く。

衛生費

問 健康増進事業で各種がん検診の検診率が昨年度より10%前後アップした。理由をどう分析しているのか。

答 休日検診、夜間検診、また託児所を設けて検診をやっており、その成果が少しはあるが表れてきている。

教育費

問 スポーツ文化芸術大会出場激励金の対象者は、何人であったかを聞く。

答 合計で85件。一般24件、大学生2件、高校生28件、中学生19件、小学生12件であった。

問 不登校対策教育支援センター事業は何人の不登校者に対応しているのか。改善状況も聞く。

答 昨年、小中合わせて55人の不登校生のうち19人が教育支援センターに通級していた。14人が学校に復帰し、3年生9人中8人が高校に進学した。

問 母国語教育推進にあたり、母国語教育の一環としての映画制作スクールとの説明であった。子どもの夢をかなえる事業の映画スクールであったが、どう変わったのか。

答 映画自体にはキャリア教育や子どもの夢を実現する部分もあるが、大きな枠でとらえれば、相手にどう言葉で伝えるのかも含め、母国語教育に位置付ける考えである。



▲映画撮影



▲脚本講座

映画制作スクールの様子

以上、各議案とも慎重な審査により、原案どおり、認定した。

# 学校紹介

## 和光中学校



### われらみな 人の世の 光とならん

これは私たち和光中学校の校訓です。全校生徒は仲良く、伸び伸びと学校生活を送っています。

しかし、いざ何かに向けて「やる」となるとこの校訓通りに一人一人が自分のできる事を精一杯やり遂げ、一丸となります。そして「良き伝統の継承」と「新しい取り組みへの挑戦」を大事にしています。伝統の継承として「鍛おどり」があります。これは



▲ 鍛踊り 水辺の納涼祭にて

財田町が生んだ偉人、大久保諺之丞にまつわる踊りですが、さまざまな行事で地域の人々と一緒に踊り、たくさんの人に喜ばれています。また、町内4力所の清掃活動もすっかり恒例行事になっています。

新しい取り組みも始めました。その例として、



▲ “届けよう服のチカラ”プロジェクト 活動風景とポスター



「届けよう服のチカラプロジェクト」という民間企業の「着なくなった服を集めて難民の子どもたちに届けるプロジェクト」に参加しています。これは、生徒会が設置した「目安箱」に寄せられた「和光中も世界に目を向け、活動したらどうか」というメモと、このプロジェクトのチラシがきっかけで始まった活動です。

2年目となった今年は、幼稚園、保育所や小学校にも協力してもらい、昨年度より多くの服を送ることができました。

私たち和光中学校の生徒は、日々の勉強、部活動、ボランティアなどに一生懸命取り組んでいます。自分たちで知恵を絞り「人の世の光」となれるようこれからもがんばります。

執筆 生徒会役員

松浦咲幸(3年生)

### 今月の表紙



#### スポーツ少年団詫間剣心会

創設から40年以上にわたって活動している剣道のスポーツ少年団。毎週火、土曜日の午後7時から9時まで元気に稽古に励んでいます。剣道を楽しみながら、礼儀作法を身に付け、大きな声であいさつのできる子を育てていきたい。今年はコロナ禍で、試合や練習に制限がある中、思い切り打ち込み練習をしている姿が、すごくたくましく感じました。新入団員募集中ですので、ぜひ見学してみてください。(石井)

### 編集後記

すっかり朝晩が冷え込み景色も秋の装いとなりました。

本年度は、市民の皆さまの声を聞くための議会報告会も、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止になり、とても残念です。

議会だより、議会ホームページは、市民の皆さまとの接点になり得る場所です。

どうか市民の皆さまの忌憚のないご意見をいただきながら、改善していきたいと存じます。ぜひともよろしくお願ひ申し上げます。(市川)

### お知らせ

令和2年度の議会報告会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止となりました。



QRコードを読み取ると、市議会のホームページがご覧になれます

#### 議会広報委員会

- 委員長 岩田 秀樹
- 副委員長 田中 達也
- 委員 市川 洋介
- 高木 修
- 近藤 武
- 水本 真奈美
- 石井 勢三
- 丸戸 研二



この広報紙は、古紙配合率70%再生紙、また、環境に優しい植物油インクを使用しています。